

平和の鐘を鳴らそう 2023

平和についてメッセージ集



広げよう平和を思い行動する心

Peace for Tomorrow

2023年8月15日

広島ユネスコ協会

「平和の鐘を鳴らそう 2023」

本日、78年目となる「終戦の日」を迎えました。

「平和の鐘を鳴らそう」というこの集いは、広島ユネスコ協会が主催し、中・高校生の皆さんの参加・協力を得て、毎年8月15日に開催しています。

ロシアによるウクライナへの非道な軍事侵攻から、1年半を経てもなお、解決への道筋は見えず、犠牲者はいまだに絶えません。更に、核兵器による脅しも続いています。核兵器がこの地球上に存在する限り、私たちは、将来にわたって最大のリスクを負うことを余儀なくされています。

国連の軍縮最重要課題でもある「核兵器の廃絶」は、理想にとどめず、世界の指導者、とりわけ核保有国が率先協調して努力・行動し、人類滅亡への歩みに歯止めをかけるように願います。

私たち広島ユネスコ協会は、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」というUNESCO憲章の理念を踏まえ、「ヒロシマ」の心を大切にしつつ、これからも草の根の平和活動に取り組んでまいります。

今日は、戦争犠牲者の方々を慰霊するとともに、戦争や核兵器のない世界平和の実現を願い、その思いがすべての人びとに届くよう、平和の鐘を鳴らしたいと思えます。皆さん、よろしくお願いいたします。

2023年(令和5年)8月15日

広島ユネスコ協会 会長 松岡盛人

響け ハチロクの音 世界中の人の心にしみわたるまで

78年前の今日、先の大戦が終結しました。戦争はかつてそこに存在した無数の人々の日常を街ごと破壊し、数えきれないほど多くの傷を、心と身体に残していきました。

今は平和を祈る大切な公園となっているこの場所も、かつては多くの人が、大切な家族とともに住んでいて、笑顔あふれる街であったことを私たちは知っています。今もいえぬその傷に苦しんでいる方が多くいらっしゃることを私たちは知っています。

それでも。

終戦から三四半世紀が経過し、日常をせわしく生きる私たちにとって戦争は遠い過去のことだと考えてしまうことはありませんか？

今この瞬間にも、世界のどこかで大切な人を失い、明日への希望を失う人たちが78年前と変わらず存在しているにもかかわらず、です。

私たちはこの広島で、日本で、世界でおこったことを知り、平和を訴え続ける必要があるのです。

私は被爆者の方に取材する活動をしています。取材していく中で、あの日のことは思い出したくない、でも若い世代を戦地に行かせたくないと思いを流しながら語ってくださる方もいました。

「現代は武器ではなく言葉で解決する時代。十人十色の意見をいかにまとめていくかを考えてほしい。」と言う方もいました。

相手のことを理解しようとしないうまま、先延ばしにして現状に満足すれば対立はさらに深まってしまい、78年前の悲劇がまた繰り返されてしまいます。

多様な考え方を認め合い、価値観の落とし所をお互いに探しあうことが、平和への第一歩につながると信じています。

その一歩を踏み出すために、「被爆者の声を聞ける最後の世代」ということを意識してより積極的に被爆者の方の話に耳を傾け、同時に外国人の方に平和への意識や考え方を聞いていこうと思います。

平和に対する価値観を「知る」そして「発信」することを続けていき、将来は国際的な職業に就いて戦争の原因となる問題を解決するきっかけを作りたいです。

戦争によって犠牲になられた方々に想いを馳せ、これ以上悲劇を繰り返されぬよう学び続けること。

平和の価値観を発信し続け、多様な考えを認め合う土壌を作ること。この決意を新たにし、今日はこの鐘を鳴らします。

2023年8月15日

広島大学附属高等学校 ユネスコ班 鈴木 翔太郎 ・ 谷村 咲蕾

The Importance of Peace

Hello everyone. We are first-grade high school students in Hiroshima. This year marks 78 years since the end of World War II and the dropping of the atomic bombs on Hiroshima and Nagasaki.

On August 6th, 78 years ago, one atomic bomb destroyed the city of Hiroshima, killing many people, including small children. Many people also suffered from the damage caused by radioactive materials for a long time. Only one bomb did that.

My elementary school was the alma mater of Sadako Sasaki, famous for being the model for the children's peace monument. I learned about family of six killed by the A-bomb. Their family ran a barber shop and were always good friends. Such happy days were suddenly end. One atomic bomb took the lives of all six of them died. Kazu Sashida, a picture book author, made this story into a book. She said that we could't erase the fact that this family lived, and that people like this family lost thier lives in war and the A-bomb.

In May of this year, Hiroshima hosted the G7 Summit, where the leaders of the G7 and invited countries visited the Peace Memorial Museum, offered flowers, and offered a silent prayer in fron of the Genotaph for the A-bomb Victims.

We hope that the leaders of the world will understand the horror of nuclear weapons and the preciousness of peace. And we think it was a good opportunity for them to think about the importance of peace.

Looking at the world, however, we cannot say that there is peace because conflicts continue in many places.

We believe that nuclear weapons should not be used for any reason.

This is because it would cause harm to many innocent people, especially children and vulnerable people would be the most affected.

To achieve peace, the international community must work together to resolve conflicts and address the issue of nuclear weapons. All nations and peoples must work together to build peace and promote dialogue and understanding. We will build the world in the future and want to make it a peaceful world without conflict.

We pray for peace in the world.

“Let all the souls here rest in peace; for we shall not repeat the evil.”
Thank you for listening.

2023年8月15日

広島大学附属高等学校 ユネスコ班 神谷 美咲 ・ 水津 脩磨

平和についてのスピーチ

「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」これは広島市の平和記念公園の中にある原爆の子の像に刻まれた碑文です。

この像の建立は、中学生の小さな願いから始まりました。像を建てるための寄付を呼びかけるビラ配りを始めたのです。同級生の佐々木貞子さんが原爆症で亡くなったことがきっかけでした。この運動は日本国内の小・中・高校生にも広がり、1958年5月5日、たくさんの人々の協力の末、原爆の子の像は建てられました。若者の活動が大きな実を結んだのです。

私の祖母は2歳の時に被爆しました。母親に背負われ、親族を探しに広島市に入って、残留放射能を浴びたのです。祖母は被爆直後の記憶が残っていませんが、被爆地広島市の惨状を目の当たりにした被爆者の曾祖母は広島市の状況について語りたがりませんでした。語るためにはあの日の出来事を思い出さねばなりません。原爆投下後の広島の様子は、思い出すことすら苦しくなるほどの惨状だったのです。

地面を埋め尽くす倒れた人々。皮膚は焼けただけ、生死どころか性別すらわかりません。救護所は傷ついた人々の呻き声で溢れています。日常は一瞬で地獄へと姿を変えました。更に放射線の影響で怪我のなかった人々も次々に亡くなっていきました。原爆は罪のない子ども達の夢と希望、未来を奪い、苦しみを与えます。今でも多くの人々が原爆の後遺症に心身共に苦しみ続けているのです。

私は広島に生まれ被爆者を家族に持つ若者として、核兵器の廃絶に強い責任と使命感を感じています。核兵器が二度とつかわれることがあってはなりません。

私たちには時間という視野が必要です。

これからの未来を生きる子供達のために。核兵器をなくし、軍縮を進め、復興支援や教育などに取り組んでいきましょう。平和はただ在るものではなく、創るものです。大人も若者も手を取り合って、平和を創っていきましょう。

高校生平和大使 広島県立広島高等学校 五閑 さくら

平和を目指す日韓両国の協力

「戦争のない平和な世界で安全に暮らしたい」という願いは全人類の永遠の夢です。

平和を愛する日本の国民と政府が、終戦後 78 年間、国際社会および日本と韓国のために平和と安全を実現しようと努力してきたことに敬意を表します。

これからも日韓両国の指導者と国民は、人類愛を胸に抱き、平和を愛する心で『平和の鐘』を鳴らしましょう。

たとえ利益の衝突や紛争、憎悪と復讐で平和が脅かされるような状況が発生したとしても、偽りと争いではなく、真実と愛と和解という平和的な方法で対立を解消し、平和の実現に共に取り組み、対話と協力をしましょう。

近頃の日韓両国における政治、経済、安全保障面での平和への努力ですが、2023 年 3 月の「日韓首脳会談」においては、日本の半導体素材 3 品目輸出規制を解除、日韓軍事情報包括保護協定を正常化し、元徴用工訴訟第三者弁済を受け入れ、2023 年 5 月に行われた G 7 広島サミットへ韓国を招待しました。

そして社会的、文化的な面では、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする規制の解除以降、両国の各分野では民間交流が活発になっています。

韓国の大邱ユネスコ協会会員は、広島ユネスコ協会を 2023 年 11 月 10 日から 13 日まで友好訪問し、交流する予定です。両国を訪問する観光客が大幅に増加している状況の中、現在、両国の間では平和と繁栄のため未来に向けて発展しています。

ユネスコの平和実現の理念を実践している私たちユネスコ人は、日韓両国の平和への努力を支持し、日韓両国民の平和のため、あらゆる交流と民間活動に積極的に参加し、協力することを誓います。今後も両国の協力を基盤として、全世界の平和と安全が継続・維持するよう願います。

2023 年 8 月 15 日

韓国 UNESCO 大邱協会会長 申 東鶴（シン ドンハク）

（日本語訳 渡邊優子）

せんそう ひと こころ なか う ひと こころ なか へいわ
戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和

とりで きず
の砦を築かなければならない。

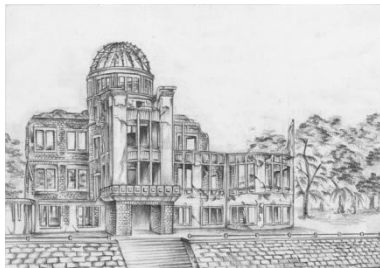
Since wars begin in the minds of men, it is in the minds of men that the defenses of peace must be constructed.

(ユネスコ憲章の前文より、Preamble of The Constitution of UNESCO)

へいわせんげん
わたしの平和宣言 Manifesto 2000 for a Culture of Peace and Non-Violence

- すべての人の生命を大切にします Respect All Life
- どんな暴力も許しません Reject Violence
- 思いやりの心を持ち、助け合います Share with Others
- 相手の立場に立って考えます Listen to Understand
- かけがえのない地球環境を守ります Preserve the Planet
- みんなで力を合わせます Rediscover Solidarity

(1998年にノーベル平和賞受賞者が国際人権会議で起草した6項目の誓いより)



広島ユネスコ協会